

科目名	運動器・上肢							年度	2026
英語科目名	Exercise device / the arms							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	秋田雄大、加藤健太、有山敦士、宮本功三、後藤晃弘、青木伊之、杉本知		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）	
【科目の目的】 柔道整復師が扱う外傷について解剖学的なことを知らなければならない。そのために骨から筋肉、関節、筋肉と4つの基礎となるべき部分を学ぶ。									
【科目の概要】 外傷を学ぶ上で欠かすことのできない運動器の基礎について学びます									
【到達目標】 解剖学、特に人体解剖学はヒトの身体の構築を学ぶ学問である。運動器上肢に着目し、骨や筋肉の理解および探求する力を身につけるために、鎖骨から手指の骨までの骨の名称と一つの骨の中でこういった名称があるのかを理解すること、鎖骨から手指までの骨と骨が連結している関節の名称と関節の種類、関節を補強している靭帯を理解すること、鎖骨から手指までの筋肉の名称と筋肉がついている部分を理解することを目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	上肢の骨について大変良く理解している	上肢の骨について良く理解している	上肢の骨についてだいたい理解している	上肢の骨についてあまり理解していない	上肢の骨について全く理解していない				
到達目標 B	上肢の関節について大変良く理解している	上肢の関節について良く理解している	上肢の関節についてだいたい理解している	上肢の関節についてあまり理解していない	上肢の関節について全く理解していない				
到達目標 C	上肢の靭帯について大変良く理解している	上肢の靭帯について良く理解している	上肢の靭帯についてだいたい理解している	上肢の靭帯についてあまり理解していない	上肢の靭帯について全く理解していない				
到達目標 D	上肢の筋の起始・停止について大変良く理解している	上肢の筋の起始・停止について良く理解している	上肢の筋の起始・停止についてだいたい理解している	上肢の筋の起始・停止についてあまり理解していない	上肢の筋の起始・停止について全く理解していない				
到達目標 E	上肢の筋の作用・神経について大変良く理解している	上肢の筋の作用・神経について良く理解している	上肢の筋の作用・神経についてだいたい理解している	上肢の筋の作用・神経についてあまり理解していない	上肢の筋の作用・神経について全く理解していない				
【教科書】 教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		運動器・上肢			年度	2026
英語表記		Exercise device / the arms			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鎖骨	鎖骨はどのようになっているのか？	1 各部位の名称	各部位の名称を理解できた	3	
			2 各部位の位置	各部位の位置を理解できた		
			3 各部位の形	各部位の形を理解できた		
2	肩甲骨	肩甲骨はどのようになっているのか？	1 各部位の名称	各部位の名称を理解できた	3	
			2 各部位の位置	各部位の位置を理解できた		
			3 各部位の形	各部位の形を理解できた		
3	上腕骨	上腕骨はどのようになっているのか？	1 各部位の名称	各部位の名称を理解できた	3	
			2 各部位の位置	各部位の位置を理解できた		
			3 各部位の形	各部位の形を理解できた		
4	橈骨	橈骨はどのようになっているのか？	1 各部位の名称	各部位の名称を理解できた	3	
			2 各部位の位置	各部位の位置を理解できた		
			3 各部位の形	各部位の形を理解できた		
5	尺骨	尺骨はどのようになっているのか？	1 各部位の名称	各部位の名称を理解できた	3	
			2 各部位の位置	各部位の位置を理解できた		
			3 各部位の形	各部位の形を理解できた		
6	手根骨・指骨	手根骨・指骨はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
7	振り返り	1回から7回までの振り返り	1 上肢骨の名称	各骨の名称について理解できた	3	
			2 上肢骨の形	各骨の部位がどこにあるのか理解できた		
			3 上肢の関節の連結	上肢の関節の連結について理解できた		
8	胸鎖関節 肩鎖関節	胸鎖関節・肩鎖関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
9	肩関節	肩関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
10	肘関節	肘関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
11	遠位橈尺関節 手関節	遠位橈尺関節・手関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
12	手根間関節 CM関節	手根間関節・CM関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
13	PIP関節 DIP関節	DIP関節・PIP関節はどのようになっているのか？	1 関節の形態	関節の形態を理解できた	3	
			2 靭帯の構造	靭帯の構造を理解できた		
			3 靭帯の機能	靭帯の機能を理解できた		
14	振り返り	8回から13回までの振り返り	1 関節の形態と構造	各関節の形態と構造を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	各筋の起始と停止について理解している		
			3 筋の作用	各筋の動きについて理解している		
15	上肢帯の筋	上肢帯の筋肉はどのようになっているのか？	1 筋の名称	筋の名称を理解している	3	
			2 筋の起始・停止	筋の起始・停止を理解している		
			3 筋の作用	筋の作用を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等